

「部門別内容」 及び 「昨年度受講者の評価」

部門	背景と狙い	内容
【生産】	<p>ここ数年、住宅業界では社内的に影響の大きな品質問題が発生しています。</p> <p>これらの品質問題(不適合)を見てみると原因がどこであれ、不適合製品を作り続けてしまったこととなります。</p> <p>これらは4M(人・設備・材料・方法)が変わった際に発見出来ていれば、不適合製品を作り続けることはなかったのではないのでしょうか？</p> <p>各社とも初期流動管理にて4M変化を管理していますが、より有効的な方法を選び、より効率よく、より確実に実施していく必要があります。</p> <p>今回の講習では、これらを反省し不適合の発生、流出を防止するとともに、工業化住宅の強みである、ばらつきの少ない品質(Q)、工期の短縮(D)、コスト削減(C)を実現するために標準化された業務システムの更なる効率化を進めるだけでなく、参加される参加者が進めている改善、改革の中で『新たな品質価値の創造』を実現するために、各自が実施している方法にとらわれることなく、各社で実施している管理方法の実例を学び、自社の方法と融合させ、より効果の高い初期流動管理を行うための方法を学んで頂きます。</p>	<p>① 各社の4M変化点管理事例紹介</p> <p>事例紹介を受けて、個人演習とグループ討議</p> <p>② 各自のヒューマンエラー対策発表と業務課題についてのグループ討議</p> <p>③ 工場見学</p>
【邸別設計】	<p>今年度の講習会テーマは、『お客様の満足に向けた新たな品質価値の創造』とあります。我々設計者はお客様からの期待に応えるべく日々努力していかなくてはなりません。そこで邸別設計部門としてのテーマを『新たな価値創造を具体化し選ばれる設計者になる為に』とします。</p> <p>今回の講習会は異なるプレハブメーカーの設計者同士が一緒になり対話を重ねながら各自の気づき、スキル、モチベーションUPに繋げる事を目的とします。</p> <p>①お客様の潜在ニーズを引き出しより良い提案をする為のヒアリング</p> <p>②設計プロセスの中で、より満足度を高め感動を呼び起こす提案について学ぶ講習にいたします。</p>	<p>【講義内容】</p> <p>各自契約に至ったプレゼン資料を持ち寄り、どのような事で感動を与え契約に至ったのか、なかなか心を開いてくれなかったお客様がどのようなヒアリングを行っていき信頼を勝ち得たかをGWの中で討議し他社の設計者の取り組みを聞く中で自分自身に足りなかった部分気づいていただく事を目的としています。</p> <p>『事前課題(宿題)について』に記載していますのでご確認ください！</p> <p>講師からの潜在ニーズを掘り起こし契約に至った事例発表</p>
【施工】	<p>賃貸アパート大手による建築基準法違反に絡んだ施工不良問題は、マスメディア等を通じて広く世間一般に報じられ、企業体質を問われる事態となりました。それにより、建設会社に対して世間からは厳しい目が向けられています。私たち工業化住宅メーカーは工場生産による「品質の高さ」を売りにしてきましたが、このような社会状況の為、お客様の現場で行われる「施工」に対する見方や期待も以前とは変わってきています。今年度の品質向上講習会テーマは、「お客様満足に向けた、新たな品質価値の創造」です。施工部門としては「施工」に対する新たな品質価値の創造を考えて行きたいと思えます。</p> <p>今回参加される各社様には、既に施工に関する業務標準や仕組みがあります。しかしそれだけで本当に今のお客様の満足に繋がるのでしょうか？ 施工品質の見える化、品質管理の効率化、IT活用、働き方改革等も含めて考えて行きたいと思えます。</p>	<p>◎施工部門テーマ</p> <p>「お客様満足に向けた、施工プロセスの品質管理とは何か？」</p> <p>施工不良問題から、仕上がり品質(見栄え)も大切ですが、施工プロセスでの品質管理がより重要であると考えテーマとしました。</p> <p>1) 受講者の皆様への事前課題</p> <p>基礎、躯体、防耐火等の各施工プロセスでの品質管理をどうしているか？(検査方法、エビデンスの残し方 等)</p> <p>2) 事例研究(発表)</p> <p>テーマに沿った内容で2社による事例発表を実施します。後のグループディスカッションの参考として学んでください。</p> <p>3) グループディスカッション</p> <p>施工不良が問題となっているこの状況下で、施工プロセスでの品質管理に</p>

		<p>において各社の取組状況をもとにグループディスカッションを実施します。どうしたらお客様満足が得られるかを参加者一人ひとりが考え、その方向性を導き出し現場で実践出来る「何か」を掴んでください。そして明日の現場から実践して頂きたいと考えています。</p>
【アフターサービス】	<p>定期点検は、初期のお手入れの仕方から中長期の価値向上提案に至るまで、お客様の住まいと暮らしに重要な接点活動であります。</p> <p>また、一方では新築が減少する中、工業化住宅を差別化しシェア向上の為に重要な武器であり、ストックの事業活動の軸にもなっていると共に、国が推進しているストック活用の施策においても重要な役割を果たしています。</p> <p>その定期点検が、今後、IoT化、女性の活躍など多様に進化していく中で、現場の最前線の皆さん一人一人が幅を拡げ、成長の機会となることを目的とします。</p>	<p>講義：差別化戦略における定期点検の役割</p> <p>これからの点検像(①スマート点検 ②HEMS・蓄電池)</p> <p>ディスカッション</p> <p>① 点検時に工夫していること・喜ばれた事例</p> <p>② 資産価値向上のために、どのような提案(商品・サービス)をしているか</p> <p>上記テーマについて、組織でやっていること、個人でやっていることを問わず記載して頂き、7部持参してください。</p> <p>又①②について、使用しているツールなど があれば、別途7部持参してください。(組織、個人を問わず)</p>
【リフォーム】	<p>リフォーム事業は既に各社の主力事業と位置付けられています。プレハブリフォームの信頼をさらに高め、高品質なリフォームを提供するためには、顧客ニーズをつかみ、新たな価値の提供が必要になってきています。</p> <p>今回の講習会では、新たな価値の創り方の先進事例を学び、受講者の業務に活かせるものとします。</p> <p>又、女性の活躍の場としてのリフォームにもスポットを当てた事例報告も実施します。</p>	<p>1) 事例発表</p> <p>プレ協各社のリフォームのノウハウを結集した「リフォーム教本」のポイントの紹介や、女性講師による「女性活躍」の先進事例の紹介を行います。</p> <p>2) 個人ワーク</p> <p>「新たな価値の創り方」に資する題材の個人ワークを行います。</p> <p>3) グループ討議 = 2つのテーマで行います。</p> <p>テーマ① : 個人ワークで各人が考えたことを、グループ討議でレベルアップを行います。非常にインパクトのある気づきを持ち帰ることとなるでしょう。</p> <p>テーマ② : リフォームの職種別(営業、設計、工事等)テーマを討議します。他社の参加者との情報共有及び刺激と気づきを実感してもらいます。</p>

《昨年度受講者の評価》 参加者アンケートより抜粋

- <全体講習> 今のプレハブ住宅の状況や品質管理のあるべき姿や品質管理の基礎的な内容手法、問題の解決の手法などを改めて教えて頂けて非常に為になりました。
- <生産部門> 他企業の取組や困った点などが共有できて非常に為になりました。自社の強み、弱みを知る事が出来ました。
- <邸別設計部門> 他メーカーの設計担当と直接話ができた事と展示場見学は今後の提案に参考になった。
- <施工部門> 自由な意見交換の中で、他社の良い点や問題点を知ることが出来、自分自身新しい気づきがありました。是非とも自社で活かしたいです。
- <AS部門> アフターサービス担当者として他社のご苦労が聞けて良かった。この部門は、どこの会社も大変であるが、やりがいも感じられた。
- <リフォーム部門> 「それぞれの会社で営業での違いや共感できることがたくさんあり、今後活用できそうな事例やお客様への対応の仕方など、これからの営業活動に役立てていきたいです。」など、新しい視点の発見や、会社は違うけど同じ苦労、課題を持っていることが共有できた。